年中無休刊

京城日日新聞

社説

朝鮮人の慣用手段

殖民地概説 拓殖局

第六章 殖民地の産業

第一節 農業

化粧品當要買

大阪便り

在阪 一記者

冬物呉服好望

仁川より

一日一人

横田法務局長

ヒマラヤ山人

時事俳評

創作

逆流 (二六)

森 漱波

祝創刊

内・外・電・報

愛蘭に暴動再発

白人との混血を避けよ
加州大学総長の放語

白人と日本人との差は余り大なる故に白人は日本人との混血を避くべし……民族の区別なれば……白人と日本人とは大に……互に依りて分離せしめよ然る後初めて平和を保ち得べし……理解あるを以て世界的協調を保つべしと（桑港来電）

シヤ市商議親日決議
シヤトル商業会議所は親日的決議を為したるが此の決議は日本……排日的運動の抑止に力むべし（桑港来電）

過軍残余僅に三万
ワルソー……攻撃の過激派軍は……に三万となれり（巴里来電）

露国最期回答如何

形勢豫め逆睹し難し

労農政府継続困難

英伊首相会議経過

ウ政府代表の声明

過派の宣伝を懼る
支那蒙古に派兵

荊州総攻撃開始

吾軍中立を声明す

中立声明歓迎さる

排日の責日本に在り
総首引渡要求理由

共産党員危惧す

陸軍特別大演習
東軍司令官 本郷房太郎
西軍司令官 宇都宮太郎

東株賠償制度変更
農商務省発表

李純不平満々

顧氏補任未定

李純政府に通告

法権侵害提議

李純代表辞任

米支電信問題

王揖唐秩序維持

重要物産規則

光逮捕の抗議

大学職員俸給令

巡査給与改正

労働課長任命

古賀長官大連着

海老名氏夫妻着連

日本に同情す

鉄道省大異動

高等土地調査委員会事務の終了
水野政務総監談

没却す

鉄道通関規程

水道移管説

鮮鉄荷動不振

財政的併合完成（上）
河内山財務局長談

韓国と列国

併合後十年

道知事会議日程

朝鮮製紙活躍

風塵録

私鉄協会設立

海州守備隊長着任

京畿局執務時間

日支間運賃改正

財務主任会議

学校組合会議

赤池局長引

京株市場出来値（廿八日）

出来高

仁川期米特電
八月二十八日前場

東京期米特電
八月二十八日前場

大阪期米特電
八月二十八日前場

龍山の一角に 由々しき社會問題

京電發電所の降灰が 一日四坪に一合宛降る

衛生の危險に住居の不安に不動產價値も戸を開けて置けぬ迄では堪らぬと附近住民が結束して

發電所移轉を其筋へ陳情

京城電氣株式會社龍山發電所の煤煙は龍山元町住民によりて時々問題となり居れるが會社側に於ては附近住民の陳述を無視せる結果事態は漸く重大となりつゝあり……し被害程度の實地檢査をなさしめたるに檢査の結果四日間四坪に四合即ち一日四坪の面積に約一合の降灰………

發電所移轉

電氣揚水機設置

非難の聲大

成行如何に

府内の虎疫 累計二十一名 内除外者四十五

意外の眼疾

宮島見物 瀬戸内海の風光に醉ふ

一家五名枕を並べて仆る

海州に疑似

想像以上に

拒絕の書面

金山寺 國有となった古い歴史を有する名刹

保菌者收容所

仁川府 重圍に陷つた

天祐

水路

技術員四名

鐵道檢疫所

貯金は何處へする 郵便局の窓口に現はれた仁川財界の景氣不景氣

御生自衞團 府の不衞生に憤起した鮮人

漁業禁止か

勞働者としての京城の女（二）

情意投合の秘關長 比丘尼の様な職業

禿げ

惡事

因果

花月

漁組

枕金

税金

株の

……時勞働收入もあるので萬更惡いお客は多く月に……

お鈎

を一寸頂戴する譯が……の所。女給勞働者としては極く確實なものでこれとて五六十圓のあるアーン

夜な

夜な、客と馴染との……

掃除

までせねばならぬ……

念珠

はつまぐるお嬢さん……

猫 赤更紗 見たいな 鈴子

十美人投票第一回開票

新粉華蝶群を抜く 一本太、照葉、萬龍の持久戰 底力ある伊達清の策戰振

第一回（開票） 二十八日正午迄

七四票	新	紅家華
五六票	中	花本菊千代
五〇票	京	花柳伊達清
四九票	京	丸家玉良
四二票	中	新花月桃太郎
三二票	中	首楊家秀千代
三〇票	仲	辰中はん太
三〇票	京	高砂照葉
三〇票	京	菊水萬龍
三六票	新	紅家紋
二三票	東	○丸
二三票	京	千歳
二二票	新	紅家
一六票	中	新花月
一九票	京	千歳
九票	京	大和家
八票	東	花仙
六票	新	花房
五票	東	花仙
五票	京	仲
五票		

（五票以下略す）

御注意

◎記者以外の投票は整理上迷惑致します例へば佐久良家の鶴御千依さんとか御霧家の仲居お鈴さんなどと云ふ類です
◎京城いろべのお鶴と云ふ投票が十三票ありますが同家に問ひ合の結果お鶴と云ふ藝者はないとの事が解りましたので今回は殘念ながら無效に致します（係り）

投票規定

一、京城、仲、新、東の四券番の藝妓に限り投票せられたし
二、用紙は必ず本紙刷込投票用紙を使用せられたし
三、投票方法は本社投票係り宛直接郵送若しくは左記設置の投票箱に投入せられたし
四、候補者名及藝名は必ず楷書にて明瞭に記入せられたし

投票箱

は二十七日から左の所へ設置しました
本町一丁目パイン萬年筆販賣所
同二丁目 津村兄弟商會
同 ウツボ屋書店
同 小田萬年筆商會
京城券、中券、新券、東券各事務所
花月、千代本、東萩久、花仙、千歳、白木

十美人當選者賞品

一等より三等迄の入選者に對し優美なる額縁附半身大の寫眞に眞象牙製撥各一箇宛
四等及五等當選者に對し中形寫眞、優美なる額縁共、眞象牙製撥各一個宛
六等より十等迄當選者に對し眞象牙製撥各一個宛
追而各店よりの寄贈賞品は整理つき次第發表致します

地圖密賣公判

大山綱紀が秘密地圖を窃取し國外に密賣せる件は二十五日東京地方裁判所刑事第二部田山裁判長係り公判開廷の筈（東京來電）

朝鮮日報發行停止

問題の朝鮮日報は其筋より屢警告を受けたるに拘らず今回更に不穏の記事を弄したる廉に依り二十七日より向ふ一週間の發行停止を命ぜられたり

潮崎喜太郎氏死去

總督府活動班 仁川でも映寫

僞指輪の詐僞

照手姫



演藝案内

朝鮮郵船 元山出帆／釜山出帆／木浦出帆／仁川出帆

朝鮮郵船株式會社

總ゴム靴 弊店特製品發賣



刺繍講習 京城刺繍講習所

はらにカタマリが

黄金館　**壽館**　**大正館**　**御料理 黄金**

鎭西八郎爲朝　人間タンク　梅咲く宿　ナムバーワン　理穴御殿

世界の心

刊創祝

海州北本町 手島商店

陸軍御用達 黄海道海州 杉江印刻店

フリキ細工 ランプ類 海州北本町 萬筆次郎

古物商 海州北本町 泉惠吉

海陸運送業 海州南本町 協同組出張所 大野重右工門

土木建築請負 木材一式 海州南本町 名草組出張所 山本彌吉

御料理 海州北本町 松乃家

海州郵便局長 松尾得一

内鮮人向雜貨類 諸銃砲火藥 海州北本町 佐藤佳藏商店

氷店 海州北本町 古賀嘉三郎

海州雜貨商組合（順はろい）

海州北本町 田邊商店　海州北本町 永商店　海州北本町 山崎商店　海州南本町 中島商店

全鮮各都邑特約店募集

オリート萬年筆 卸賣

新刊書籍雜誌卸賣

發明品、文房具、食料品卸賣

株式會社 釜山日報京城代理部

資本金三千萬圓

株式會社 朝鮮殖産銀行

頭取 有賀光豐

支店及派出所

聖易學指南 易笠占 井上大我

自宅鑑定料隨意

通信鑑定希望者は貳圓送附あれ

K.D.K.

川北モートル

○發電機 ○配電盤 ○變化器 ○精米機

電機修理

株式會社 川北電氣企業社製品

京城販賣所

資本金 八千萬圓

拂込濟資本金 五千萬圓

積立金 七百六十五萬圓

朝鮮銀行

總裁 美濃部俊吉

支店出張所

東京旅館

京城府旭町二丁目六番地

仁川本町四丁目 電話六百六十番

別府自動車部

高級オリート萬年筆

新案各種…地方特約販賣店募集

釜山日報京城代理部

最新刊

蒙古通信社長 眞繼義太郎著

演説武者修行

附―政界游泳録―我が雄辯術

東京 先進堂發行

四六版布製 百八十八頁 總ルビ附 定價壹圓 送料拾錢

天下を取るの術、昔は劍を按じて起ち、今は三寸の舌を以て起つ。天下取らうの志も空しく水泡に歸した著者は、心機一轉、今は大陸の奥、蒙古に在りて、專心蒙古開拓に眈る。本書は著者半生の棚卸し、懺悔録とも申すべき歟。後の志を同じくする人々の爲に、此の一本を作る。

演説會の樂屋噺。慷慨激越、天下國家を痛憤論議。「長講獨演五時間」と稱して一文持たずに天下を周遊した當時の逸談。天下取らうの諸君に取つての好參考書。

取次店 京城府太平通二丁目 釜山日報京城代理部

振替京城五三三六番

大阪屋號。日韓書房

祝創刊

京城府吉野町一丁目

高山孝行

電話二六五一番

コレラ 虎疫豫防

台灣總督府 警務局 御指定

仁丹

森下博藥房

AKATAMA

赤玉

今からの胃腸には

アカダマ固腸丸

樂天堂製藥株式會社

梅毒淋病に苦しむ人は本劑を知らざる未だ知らざる方なり

如神丸

説明書無代進呈

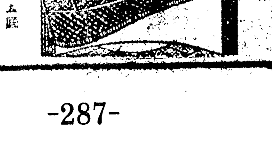
特約店募集

香山製藥合資會社

花柳病科

香山醫院

ヨシトクタビ



德島足袋株式會社

永樂醫院

内科小兒科 皮膚科花柳科

京城永樂町

湖崎喜三郎 儀

八月廿八日

友人代表

湖崎　高島　今村　井上　岡内　河村　高島　曾我　釋尾　吉岡